

発展する中国の流通Ⅱ

The Development of Retailing and Distribution System in China Ⅱ

中国市場の発展は日本企業の行く末に大きな影響を与えようとしている。少子高齢化・人口減少により日本市場は長期低迷期に入り、日本の流通業や消費財メーカー等の内需型産業は、持続的成長のため中国をはじめとするアジア新興国市場にシフトしはじめた。しかしながら、移行経済体制下にある中国は、人件費の急騰、安全・安心の確保、公害問題の深刻化、欧米・華人・華僑資本入り乱れての競争激化、そして市場開放を進めてきた政策の揺り戻し等、多種多様な問題が発生している。

昨年に続く2回目の当研究センター研究プロジェクト「中国流通研究会」(代表・矢作敏行)による研究報告会では、来日中の黄副教授による中国の最新市場動向、および鍾准教授による台湾系食品メーカーの中国市場戦略に関する各講演を通して、日本企業の国際展開のあり方を考える。 ※講演は日本語で行います。

プログラム

■ 14:00~15:00 【講演1】中国流通業を取り巻く経営環境の変動

黄 江明氏(中国人民大学商学院副教授)

【略歴】中国マーケティング・流通研究の拠点校である北京・中国人民大学に籍置き、中国小売業態の発展に関する研究に取り組む一方、中国流通企業の社外取締役等を務める。著書に「中国コンビニエンスストアの成長と消費者の評価」、矢作敏行編『中国・アジアの小売業革新』(日本経済新聞社、2003年)等がある。神戸大学大学院博士後期課程修了。博士(商学)。「中国流通研究会」研究協力者。

■ 15:00~15:15 【質疑応答】

〈休憩〉

■ 15:25~16:25 【講演2】台湾系食品メーカーの中国市場戦略——頂新(康師傅)と統一企業

鍾 淑玲氏(東京工業大学大学院経営工学専攻准教授)

【略歴】台湾における食品メーカーの生成・発展・変容を研究テーマに、最近では華僑・華人資本の中国・アジア市場戦略の研究に取り組んでいる。著書に『製販統合型企業の誕生—台湾・統一企業グループの経営史—』(白桃書房、2005年)等がある。立命館大学大学院博士後期課程修了。博士(経営学)。「中国流通研究会」メンバー。

■ 16:25~16:40 【質疑応答】

■ 16:40~17:10 【全体を通じた質疑応答】



矢作敏行(法政大学イノベーション・マネジメント研究センター所長、経営学部教授)

■主催:法政大学イノベーション・マネジメント研究センター(RIIM)

■協力:財団法人 海外投融資情報財団(JOI)

●日 時 2008年 6月3日(火) 14:00~17:10

●会 場 法政大学市ヶ谷キャンパス(富士見校舎) ボアソナード・タワー26階 スカイホール

●参加費 無 料

●定 員 先着100名(定員に達し次第締切)

●使用言語 日本語

●申込方法 氏名、所属、連絡先の郵便番号・住所・電話番号・FAX番号、E-mailアドレスを明記の上、FAXまたはE-mailで法政大学イノベーション・マネジメント研究センター宛にお申し込みください。締め切りは5月30日(金)です。

※個人情報の扱いは厳重に管理しております。法政大学に関連するイベント開催等の通知を目的としており、それ以外の目的では使用していません。

●申 込 先 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター
FAX:03-3264-4690 E-mail:cbir@adm.hosei.ac.jp

●そ の 他 お車でのご来場はご遠慮ください。



法政大学市ヶ谷キャンパス(富士見校舎)ボアソナード・タワー26階 スカイホール